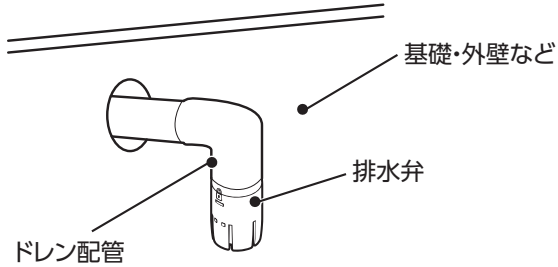


排水弁のお手入れのしかた ～シーズンの始めに確認してください～

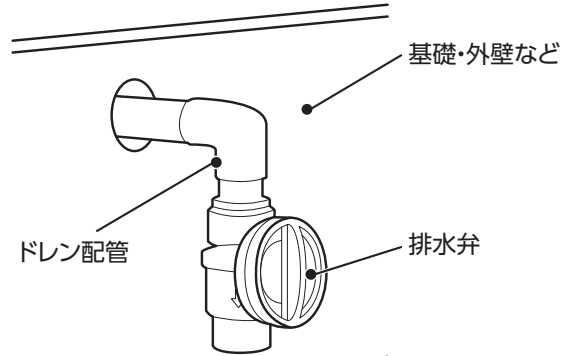
・排水弁は屋外基礎部分などに設けられたドレン配管の先端に取り付けられています。
(ドレン配管の位置は住宅により異なります。お買い上げの販売店にご確認ください)
 ・室内機1台につき、1つの排水弁が取り付けられています。
 ・室内機および住宅の仕様により、排水弁のお手入れのしかたが異なります。
 下図を参考に設置されている排水弁のかたちを確認してからお手入れを行ってください。

<Aタイプ>



お手入れのしかた：
 本ページ下部をごらんください

<Bタイプ>



お手入れのしかた：
 59ページをごらんください

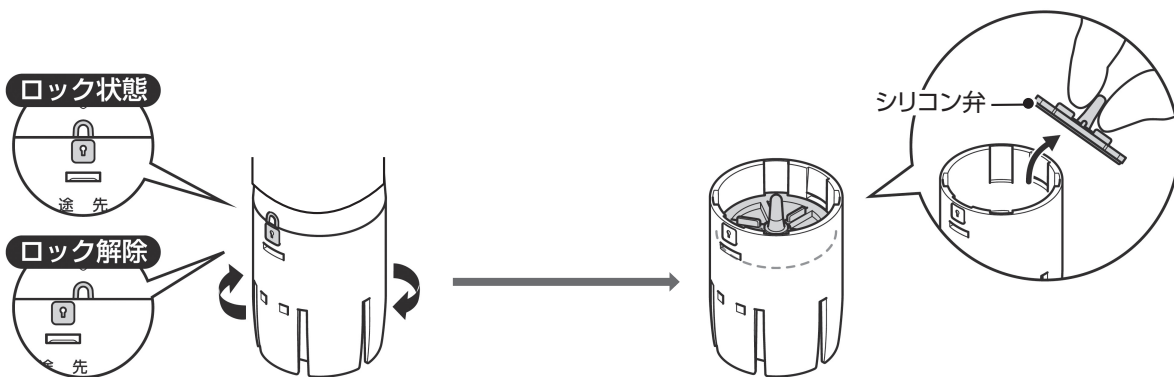
⚠ 注意

空調機器が停止し、排水が出ていない事を確認し、下記手順にてお手入れを行ってください。

●お手入れのしかた

<Aタイプの場合>

- ①排水弁本体下部を回転させ、ロックを解除し、分解します。
- ②シリコン弁をつまんで取り外し、本体の内部とシリコン弁の掃除をします。
- ③シリコン弁を戻し、鍵マークの位置を合わせて本体下部を元に戻します。



⚠ 注意

- 凍結により排水弁本体下部が取りはずせない場合や、シリコン弁が凍結している場合は、ぬるま湯をかけて解氷してからお手入れをしてください。
- 排水弁本体のロックを解除した際や固着が解消した際に、たまっている水が一気に流れることがありますのでご注意ください。

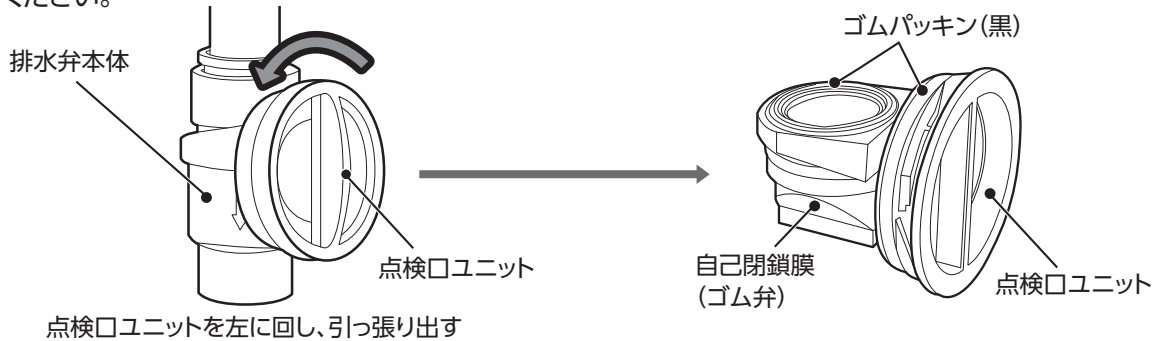
お手入れのしかた

排水弁のお手入れのしかた(つづき) ~シーズンの始めに確認してください~

●お手入れのしかた

<Bタイプの場合>

- ①点検口ユニットを左に回し、ロックを解除して引っ張り出してください。
- ②自己閉鎖膜(ゴム弁)に付着しているゴミなどを洗い流してください。
洗浄する場合は、ブラシなどを使用せず、やわらかいスポンジなどをご使用ください。
- ③ゴムパッキン(黒)にゴミなどが付着していないか確認してください。
- ④点検口ユニットを取り付けてください。取付の際は、点検口ユニットを押しながら右に回し、ロックさせてください。



⚠注意

- 凍結により点検口ユニットが取りはずせない場合や、自己閉鎖膜が凍結している場合は、ぬるま湯をかけて解氷してからお手入れをしてください。
- 点検口ユニットを開けた際や固着が解消した際に、たまっている水が一気に流れることがありますのでご注意ください。

◇ご注意 ~洗面台下吹出口を設定されている場合~

- 洗面台下吹出口は取りはずすことはできません。
- 吹出口内にあるメッシュ部に強い力がかかると破損するおそれがあります。
- 洗面台下吹出口前のフローリングは、水ぬれ・乾燥の繰り返しによって経年劣化が早まる可能性があるため、マットを敷いて使うことをおすすめします。

